

次期総合計画策定にかかる 団体アンケート 調査結果

令和4年3月

新潟市

調査の概要

1 目的

団体の皆さまのご意見を次期総合計画策定に反映させるため、専門的な観点から、新潟市が持っている強みや優位性についてお答えいただくアンケート調査を実施しました。

2 調査の期間

令和3年10月28日から12月10日まで

3 調査の方法

市政に関係する団体(85団体)へアンケート様式を送付し調査

4 回答件数

47団体 69件

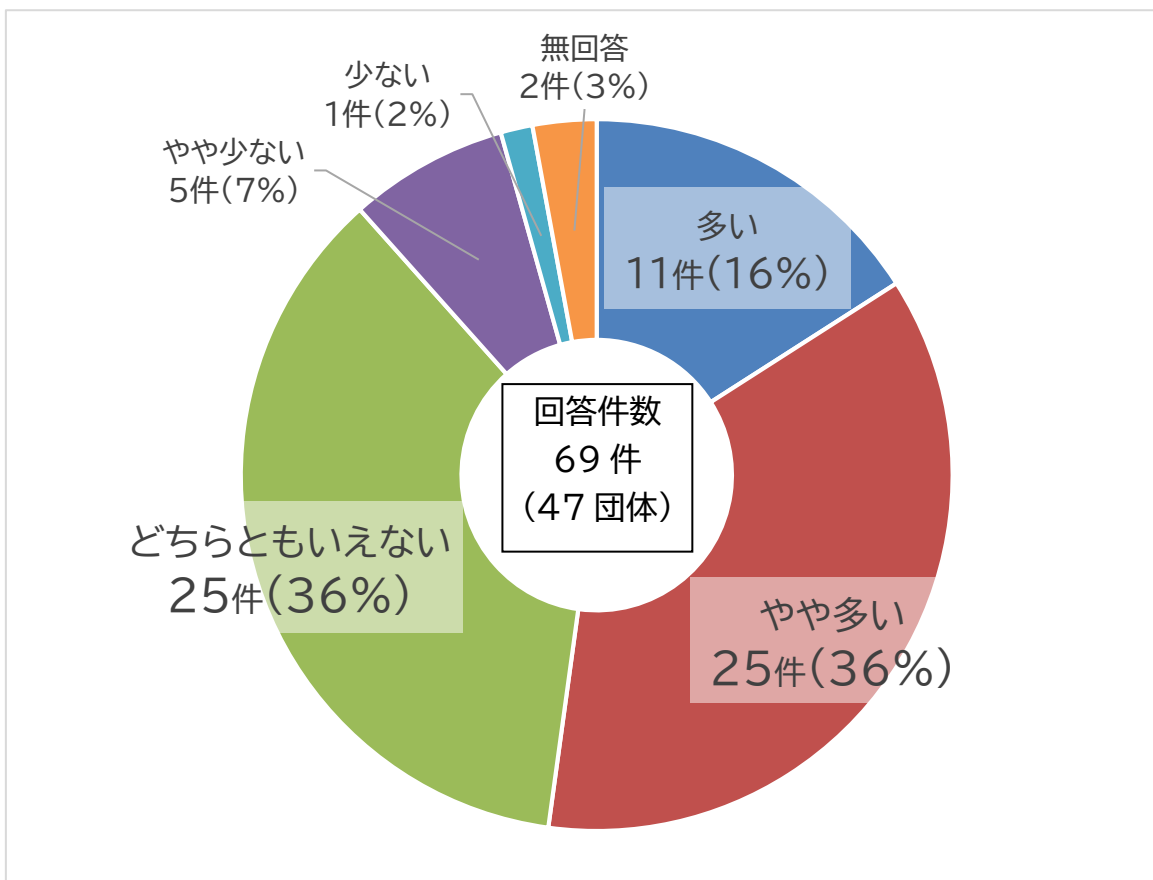
調査の結果

➤ 設問1

新潟市が持っている「強み」や「優位性」は
他都市と比べて多いと思いますか？

➤ 回答 (選択肢:多い、やや多い、どちらともいえない、やや少ない、少ない)

強みや優位性を「多い」「やや多い」とした回答は合わせて
36件(52%)となり、全体の半数以上を占めました。



➤ 設問 2

新潟市が持っている「強み」や「優位性」は具体的に何だと思いますか？

➤ 回答(自由記述による回答)

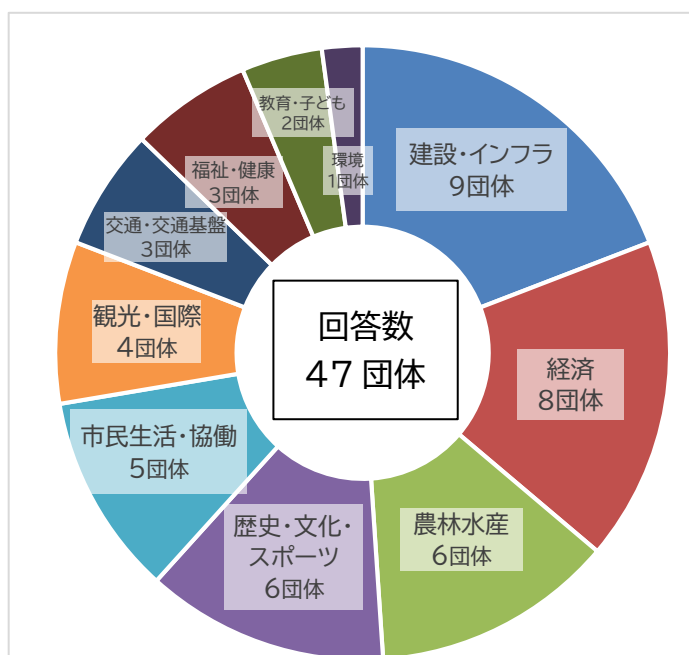
頂いたご意見をキーワードごとに取りまとめました。

様々な分野の団体からご意見をいただいた「広域交通・拠点」をはじめ、自然、食、歴史・文化など、本市には幅広い強み・優位性があると考えられます。

キーワード	意見の数
広域交通・拠点	36
自然	18
食	14
歴史・文化	12
農業・水産業	11
地域、協働	10
都心	10
教育	8
雇用	7

キーワード	意見の数
観光・MICE	6
子育て	6
インフラ・公共交通	6
安心安全	5
福祉・支えあい	3
女性活躍(育児両立)	3
スポーツ	3
健康	2

(参考)
ご回答いただいた
団体の主な分野



➤ 主なご意見

前ページのキーワードに基づき、主なものを抜粋しました。(一部表現を修正しています。)

広域交通・拠点
<p>(経済関係団体)</p> <p>上越新幹線、高速道路網、空港、港湾首都圏はじめ全国への良好なアクセス環境に恵まれており、さらに国際コンベンション施設等のインフラも備え、環日本海のゲートウェイとしての拠点性も有している。エネルギー供給拠点として太平洋側へも伸びるガスパイプラインを有し、上述の恵まれたアクセス面やインフラも含め首都圏災害時には支援機能や代替機能も担うことができる。</p>
<p>(経済関係団体)</p> <p>首都圏からのアクセスの良さは強い。ワーケーションの選択肢にもあげやすい。また、実際に新潟に支店を置いた IT 企業なども少しずつ増えていることから、事例としての情報発信もできる。</p>
<p>(経済関係団体)</p> <p>首都圏に近く、港湾・空港・高速道路も揃っている新潟は「代替機能」を担える都市としての強みがある。また、東日本大震災の際も、日本海側最大級の救援支援拠点となったところ。東京⇒埼玉⇒群馬⇒新潟のルートにおいて、港湾・空港を有するのは新潟のみである。</p>
<p>(経済関係団体)</p> <p>アジア諸国等へのアクセスが良好であることから、経済活動や交流の展開に期待もてる。広大な土地を活用して工業団地が各地に造成されて、そこに繋がるアクセス道路が整備されていることで、企業がそこに集積しておりマイカーによる就労環境が整っている。</p>
<p>(港湾空港関係団体)</p> <p>新潟港は、日本の貿易量の99.6%を担う海上輸送の内、国際海上貨物輸送網の拠点となる国際拠点港湾として位置づけられている。日本海最大のエネルギー供給基地であるが、将来は現在の化石燃料から脱炭素エネルギーである水素及びアンモニア等の輸入基地としての活用の可能性を持っている。</p>
<p>(経済関係団体)</p> <p>関東圏からのアクセスが良く、地方に移住して仕事を行うI・Uターンの需要が高いように思う。そのため採用に関しても関東圏も視野に入れて活動しやすい。</p>

自然

(文化関係団体)

越後平野のほぼ中央に位置する新潟市は、信濃川と阿賀野川の2つの大河が日本海に流れ込み、多様性に富み、自然環境が優れている。新潟でしか見られない生物も多く、地域の自然環境を正しく認識できる。

(建築関係団体)

二つの大河、広大な平野、長い海岸線と佐渡、弥彦、越後山脈を望む自然環境は、我々にとっては見慣れた風景だが、他に類を見ない。こうした自然環境と文化・産業を融合したものが観光資源になる。

(経済関係団体)

城下町文化に劣らない、湊町文化に培われたおもてなしや交流の文化土壌が引き継がれており、世界に誇れる豊かで伝統ある食や芸術文化、そして四季を感じさせてくれる自然や様々な観光資源に恵まれている。

(スポーツ関係団体)

まちなかに信濃川があり、やすらぎ堤が豊かな水辺と緑、更に白山公園につながり開放感のあるすばらしいランドスケープをつくっている。

(経済関係団体)

海、山の自然に恵まれておりアウトドアが満喫できる。

(環境関係団体)

リフレッシュ出来る自然豊かな場所が多い。

(協働関係団体)

田んぼ、水辺、湿気があって、とても過ごしやすい気候である。

食

(教育関係団体)

- ・米菓／餅／水産練製品／酒造の生産拠点&食文化も発信できる。
- ・古町や新潟駅周辺の飲食店による(関東圏より)安くて新鮮で美味しい食と飲料の提供が可能

(経済関係団体)

- ・食と農業に優れており、これからの6次産業化など進めやすい。
- ・豊富な農業資源を活用し、食に関する新たなビジネスを構築するチャンスがある。
- ・他都市と比べ食料自給率が高く、災害の際に大きく力を発揮するとともに、6次産業化を推進することにより、新たなビジネスチャンスも生まれてくる。

(流通関係団体)

新潟市は、水・米・酒をもっと誇りに持ってよいかと思います。食べ物もおいしく、そのレベルは日本トップクラスといっても過言ではありません。

歴史・文化

(文化関係団体)

空中庭園のある立体通路で繋がれた新潟市民芸術文化会館、新潟市音楽文化会館及び新潟県民会館の3施設が芸術文化ゾーンを形成することで、能芸能、コンサートや演劇を規模に応じて様々に上演できるほか、市民の音楽活動に対しても練習や発表の場として寄与している。特に、新潟市民芸術文化会館については、独立行政法人日本芸術文化振興会「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」で採択された全国16劇場の一つとなっているなど、全国的な評価も高い。また、北前船に代表される湊町文化を旧小澤家住宅で伝承しているほか、開港5港の1港として150年を超える歴史を持つ旧新潟税関庁舎、新潟市域の歴史を児童生徒を含め市内外にわかりやすく紹介する新潟市歴史博物館を有し、周辺に歴史文化ゾーンを形成している。

(文化関係団体)

幕末の黎明期、それに続く近現代において、日本の学問・芸術・文化などさまざまな分野でその基礎をつくり、また発展に大きな貢献をした人物が数多く出ている。

(文化関係団体)

文化・芸術施設が充実していることから、関東圏からアクセス良く発信(公演)される新鮮なパフォーマンスをインプットし易く、自団体で研鑽を重ね、施設でアウトプット(発表)し易いと思います。

(経済関係団体)

城下町文化に劣らない、湊町文化に培われたおもてなしや交流の文化土壌が引き継がれており、世界に誇れる豊かで伝統ある食や芸術文化、そして四季を感じさせてくれる自然や様々な観光資源に恵まれている。

農業・水産業

(教育関係団体)

日本で最大の水田面積を有する大農業都市(水田面積 28,300ha)であること、全国に誇れる農産物と食の豊かさ、国家戦略特区の指定を活用した先進的な取り組み、全国シェアトップクラスの食品メーカーが複数立地していることがあげられる。

(農業関係団体)

米をはじめ園芸作物である野菜、果樹、花きの生産量が他の行政に比べ多い。高速道路網が発達しているため、新鮮な農作物を首都圏へ短時間で届けることが出来る。

(教育関係団体)

- ・政令指定都市の中で最も食と農業／水畜産業が盛んであり、生産・開発技術・研究に優位性がある。
- ・高品質な米の生産＋水田による環境保全／景観保全／土地利用技術(水利技術)がトップクラス
- ・様々な花卉・園芸品／農作物(枝豆、柿ほか)の生産・集積地
- ・大都市近郊で新鮮な魚介類が収穫でき、環境負荷の少ない養豚・養鶏による畜肉の供給が可能。
- ・国家戦略特区指定による農業6次産業化の推進が見込める。
- ・フードテックやアグリテックに必要な研究資源の有効活用が可能(新潟大学、新潟薬科大学、新潟食料農業大学、新潟県農業大学校、各種専門学校、新潟県水産海洋研究所、新潟市農業活性化センター、食の新潟国際賞財団など)。

(農業関係団体)

新潟市は、ほ場整備事業やかんがい排水事業等の土地改良事業が施工され、農業基盤が整ってきている。また、交通アクセスも良いことから、首都圏の企業が農業に参入しやすい環境である。

地域、協働

(防犯関係団体)

地域住民同士のつながりが強く、防犯活動、犯罪防止啓発が浸透しやすい。

(福祉関係団体)

地域のつながり(自治会・町内会、地域コミュニティ協議会等)や民生委員児童委員といった地域を支える力がある。

(文化関係団体)

市内の昼夜間人口比率がほぼ 100%であり、生まれも育ちも新潟市及び周辺地域の人が多い。生活の全てを市内で完結している市民が多く、地域コミュニティや暮らしやすさに対する満足度や愛着が高い。そのため、郷土の歴史文化や慣習に触れる機会が多く、また世代間の地域文化に関するリレーがなされやすい。

(文化関係団体)

新潟市は、コミュニティ施設が各地域に整備されており、利用し易く、趣味を通じた芸能活動も盛んに行われ、健全な生きがいづくりに繋がっている。

都心

(経済関係団体)

可住地面積が市としては日本最大であり、都市開発の余地が非常に大きい。

(観光関係団体)

都市機能を備えながら近くに田園や自然を感じられる風景がある。

(教育関係団体)

ウイズコロナ、ポストコロナに対応しながら、「選ばれる都市 新潟市」の実現に向け市全体でまちづくりにも力を入れており、都心活性化施策でもあるにいがた 2 km、ミズベリング、万代テラスハジマリヒロバなどの取り組みが開始されることにより、食や農の価値上昇が期待できる。

(経済関係団体)

都市部と郊外の物理的距離は近いが、他の同規模の都市と比べて車社会中心のため、公共交通機関での移動には不便を感じることもある。しかし車社会中心で道路が充実しているということは、トラック等の物流には有利。

(建設関係団体)

新潟駅のリニューアルは強みである。公共交通機関のバスや観光も優れている。

教育

(教育関係団体)

特定の領域、例えば歯科では2つの歯学部と3つの歯科衛生士養成校を有するなど、教育資源が多くある。歯科医院数も多く、その効果として歯科保健レベルも全国で上位にある(このような領域は他部門でもあると思われ、アピールする価値は高いと考える)。

(福祉関係団体)

・福祉系学校が集中しており、専門知識、技術の習得が比較的容易である。

(教育関係団体)

健康医療と食品との融合分野ならびに摂食・咀嚼・嚥下・介護と食品との融合分野において優位性をもつ大学があり、市民の健康寿命の延伸を考慮した施策を打ち出すのにも良い環境であると思われる。

雇用

(移住関係団体)

都市部もあり農村部もあり、多様な移住希望者(ライフスタイルをあまり変えたくない人からライフスタイルを大きく変えたい人まで)を受け入れることができる強みがある。また、現在の移住希望者の7割が20代~40代で、比較的若い世代であるために、仕事のあるなしによって移住希望地が変わってくる。その意味で、仕事の選択肢が多いと思われる新潟市には優位性があるといえる。

(経済関係団体)

自動車通勤が可能な職場が多いことから中心部以外に住居を構えやすく、若年者が生活しやすい。

(建設関係団体)

関東圏(首都圏)に比べ、交通機関の渋滞が多少少ない為、通勤時間や運搬時間の負担が減り、ワークバランスが良い。

その他

(経済関係団体)

新潟市内に大型イベントや国際会議等を開催できる施設及び開催実績がある。(エコスタ、ビックスワン、朱鷺メッセ、市民マラソンなど)

(経済関係団体)

・日本最大の砂丘(鳥取に負けない砂による観光の可能性がある)
・市街地隣接の広大な海及び砂浜(拠点性として優位性が非常に高く、都市規模と海岸線の長さで全国でも類を見ない恵まれた地域であり、国土交通省 最先端観光コンテンツ インキュベーター事業の「ビーチの観光資源としての活性化に向けたナレッジ集」の通り、ビーチ観光のポテンシャルが非常に高い地域である)

(建築関係団体)

自然との闘いの結果としての土木遺産がある。大河津・関屋・新川分水路、親松排水機場、新潟みなとトンネル、万代橋、新々バイパス、新幹線、高速道路、新潟西港、東港の防波堤など。

(交通関係団体)

主要道が幅広く、平坦道路が多い。通勤時間帯等の一部の渋滞発生時間帯を除けば容易に比較的短時間で目的地への移動が可能である。

(経済関係団体)

・女性の社会進出が多く、製造業等での働き手が確保されている。
・保育所が多く、待機児童がいないことから女性が働きやすい環境である。

(教育関係団体)

共働き世帯の割合が高く、子供がいる夫婦の共働き率も高く、30代女性の就業率が高いことは、保育所数が多いことが大きく寄与していると思われる。子供がいても女性が働ける環境にあることは、将来において女性人口の減少を防ぐのに重要な要素となると思われる。そこで、育児と仕事を両立させている女性の就業率の高さをデータとして示し、「便利さ・住民サービスが期待できる政令市の中で最も女性が働きやすい環境が整備されている」と宣伝していくことができる。育児中の女性に対して優しくて共働きを支援している環境は、進学などで新潟を離れる女子学生が卒業後にUターンして新潟に戻る可能性を高める環境であるはずなので、積極的に宣伝していくべきであるし、女性の働きやすい環境を今以上に整備していくべきと考える。

(経済関係団体)

新潟市は、他地域に比べ自然災害が少なく、関東圏からのアクセスも良いため、テレワークやDXの進展などの新しい働き方にも充分対応できている。また、8つの区が工業、流通、観光、農業などそれぞれ特徴を持っており多様な企業ニーズに応えることができる。

(福祉関係団体)

高齢者1万人あたりの介護老人福祉施設等数が政令指定都市の中でも多く、要介護状態になっても介護サービスが充実しており、住みやすい環境が整っている。

参考資料

➤ 調査票

次期新潟市総合計画の策定にかかるアンケート 回答様式

貴団体名	
ご担当者様 氏名・連絡先	

新潟市の強みや優位性についてお聞きします。
頂戴したご意見は、次期総合計画の策定の参考とさせていただきます。

質問1	新潟市が持っている「強み」や「優位性」は、他都市と比べて多いと思いますか？ いずれか1つに○をつけてください。 ※貴団体の活動内容や立場にこだわらず、 全体的な印象としてお答えください。				
回答1	5	4	3	2	1
	多い	やや多い	どちらとも いえない	やや少ない	少ない

質問2	新潟市が持っている「強み」や「優位性」は、具体的に何だと思えますか？ 回答例や参考資料を参考に、自由にご記入ください。 ※貴団体の活動内容や視点から、 専門的な観点でお答えください。				
回答例	コロナ禍の影響でテレワークが浸透してきており、関東圏からのアクセスが良い新潟市は、 企業の地方拠点としての選択肢に入りやすい。 他都市に比べて通勤時間が短いことや、保育所数が多いことから、 働きやすく住みやすい環境が整っている。				
回答2					

ご協力いただきありがとうございました。回答は依頼文書に記載の提出先へご提出ください。